

シルバーたいとう センターだより

No.125

発行 公益社団法人台東区
シルバー人材センター
編集 総務・広報委員会
台東区小島 1-5-5
電話 3864-3338
FAX 3864-3383
アドレス <http://www.taito-sc.or.jp/>
メール taito@sjc.ne.jp
発行日 平成28年10月15日
会員数 933人(28年9月末日現在)

10月は広報活動強調月間です。



東京しごと財団「特設展示コーナー」にて

台東区シルバー人材センターは、働くことを通じて会員の皆様の生きがいと健康づくりをすすめる、活力ある地域づくりに貢献していくため、会員の方々に就業の機会の提供と社会活動への参加の支援をしています。

高齢社会の進展にともないシルバー人材センターの役割は、ますます重要になってきており、シルバー人材センターが行っている様々な事業活動について、地域の皆様のご理解とご協力を頂くため、広報活動にも力を入れて取り組んでいます。この環として、当センターが公益社団法人東京しごと財団とともに、毎年十月を広報活動強調月間と定めて、当センターの地域特性を活かす取り組みや特色ある活動などのPRに努めています。

当センターでは、十月の広報活動強調月間の活動の取り組みとして、十月十四日・十五日開催の「消費生活展」と十月十九日・二十日開催の「寿作品展示会」に参加します。各事業には、消費者団体や老人クラブの皆様など、多くの団体や個人の皆様が様々な展示や事業紹介を行っています。当日は、会員の募集やシルバー人材センターに対する発注のお願い等PR用リーフレットを配布するとともに会員による折り紙、毛筆筆耕の実演や作品展示など当センターの活動の一端をPRします。

シルバー人材センターでは、これから、より多くの就業の機会を継続的に確保していくとともに、これからの高齢社会に向けた新たな就業機会を確保していく必要が求められています。会員の皆様が力を合わせて就業先でのお客様に対するサービス向上を心がけることが、シルバー人材センターの大きなPR活動にもつながります。シルバー人材センターを社会貢献の一翼を担う団体として、その特徴・特色を広く区民の方々にアピールしていくためにも、会員の皆様とともに広報活動を積極的に展開していきます。

理事会だより

第四回理事会(平成二十八年七月二十六日開催)

審議事項

- (1) 新規入会について
協議事項

- (1) 平成二十八年年度広報活動調化月間の実施及び消費生活展・寿作品展示会参加について

報告事項

- (1) 平成二十八年六月分事業実施状況について
- (2) 平成二十八年年度安全就業実施計画について
- (3) 植木剪定作業に関する安全対策について
- (4) 平成二十八年年度労務実務支援の実施結果について
- (5) 自転車シミュレーションによる自転車安全教室開催について
- (6) 家事援助基本サービス研修の実施結果について
- (7) 家事援助ハウスクリーニング研修開催について
- (8) 実務研修「適正就業のポイント」の報告について
- (9) 安全就業推進連絡拡大会議について
- (10) センター事業の広報について

第五回理事会(平成二十八年八月二十三日書面による決議)

提案事項

- (1) 新規入会について

第六回理事会(平成二十八年九月二十七日開催)

審議事項

- (1) 新規入会について
- (2) 平成二十八年年度第二回収支補正予算について

報告事項

- (1) 平成二十八年七月分・八月分事業実施状況について

- (2) 平成二十八年年度業務監査結果について

- (3) 四十周年記念事業進捗について

- (4) 役員等が参加する行事予定について

- (5) 広報について

- ① 新聞折り込みについて

- ② センターだよりについて

その他

- (1) 自転車シミュレーター研修の実施結果について
- (2) 転倒防止勉強会参加について

委員会だより

第一回四十周年記念事業実行委員会合同部会(平成二十八年七月二十六日開催)

協議事項

- (1) 四十周年記念誌の編集方針・構成について

- (2) 具体的な編集方針の検討について

第二回四十周年記念事業実行委員会合同部会(平成二十八年九月十三日開催)

協議事項

- (1) 四十周年記念誌の編集方針について

- (2) その他

- ・写真撮影の体制について

- ・今後のスケジュールについて

第三回総務・広報委員会(平成二十八年九月二十七日開催)

- (1) センターだより十月号について

安全リーダー研修に参加しました

平成二十八年七月二十一日、東京しごとセンター会議室において安全リーダー研修が開催

されました。当センターからは、安全管理委員会の石森委員長、石黒委員、難波委員、姫野次長の四名が参加しました。講師はNPO法人神奈川県転倒予防医学研究会転倒予防運動指導員朝香好平氏です。演題は「高齢者の転倒予防、骨折による重篤化を防ぐ。意識して行動すれば転倒の約八十%は防ぐことができる」です。東京都シルバー人材センター連合によれば、平成二十七年傷害事故件数は五三〇件で、転倒による傷害事故件数は、一九四件(三六・六%)。この一九四件のうち就業中は、一二四件(六三・九%)、通勤途上は七〇件(三六・一%)となっています。

【予防対策】

- ① 速歩き(中程度の運動)

速歩きなどを生活に多く取り入れることにより転倒予防。

歩くスピードが速い人ほど転倒しにくい。

- ② 筋力を強化する運動

・大腿四頭筋のトレーニング

大腿四頭筋は立った時、ひざを曲げずに体を支える筋肉

・中殿筋のトレーニング

中殿筋は体が横に振れないように支える筋肉

- ③ バランス力を強化する運動

目を開いたまま片脚で立つトレーニング
転倒しないように必ずものにつかまって行う。



シルバーパス交付事務に 四十八名の会員が従事しました

九月一日から一か月間、台東区役所や生涯学習センターなど八か所に設置された窓口で、平成二十八年度「東京都シルバーパス」の更新手続きが行われました。この業務には四十八名の会員（延二〇四名）が、二十日間にわたって従事しました。従事された会員の皆さんは、会場の整理や書類チェックと審査、シルバーパスの氏名記入等の業務について事前に説明を受けて、当日は親切丁寧な業務にあたっていただきました。区外からの申請者を含めて約一万人の新しいシルバーパスをお渡ししました。



区役所会場

家事援助サービスが始まりました

本年度の新規事業です。七月の研修終了後、会員の就業が徐々に進んでいます。日常清掃等に就業された佐橋さんの声をお聞きました。生きがいと社会参加のため入会しました。趣味はウォーキングで毎日六〜七キロは歩きます。週三日、家事援助サービスに通っています。介護福祉の経験はありますが、初めてのお宅に行くときは多少不安があります。でも、綺麗になったと喜ばれ、信頼関係ができるのでやりがいのある仕事です。



佐橋さん

ハウスクリーニング研修を実施しています

九月十四日、二十六日に家事援助サービス登録会員を対象に、清掃のスキルアップをするためハウスクリーニングの実技研修を行いました。

空き部屋をお借りして窓ガラス・網戸、トイレ、台所、浴室などの効率的な清掃の仕方をハウスクリーニングの豊富な経験の豊富なプロの講師に教わりました。



楽しく実技中

ハウスクリーニング研修の 受講者募集！

《講師》 響城 れい 氏

《内容》 窓ガラス・網戸・台所・トイレなど、清掃箇所別に手順、洗剤、道具などについて経験豊富なプロの講師からしっかり学びます。

《対象》

①家事援助サービス登録会員

②掃除のスキルアップをお考えの会員

《日程》

（講義・実技） 十一月七日（月）

（空き住宅で実地研修） 十二月五日（月）

いずれも午後一時三〇分〜四時三〇分

《場所》 小島社会教育館ほか

募集人員 各回一五名程度

先着順に受け付けます。

（問合せ先） ☎三三八四―三三三八 内藤



目からウロコのお話し満載です！

転倒予防勉強会に参加しました

平成二十八年八月二十四日、東京しごとセンター会議室で開催の転倒予防勉強会に河野理事が参加しました。講義テーマは「転倒予防に有効な運動（バリアフリーでこそ高齢者は転倒する）」で、講師は大東文化大学環境創造学部の福島斉准教授（整形外科医）です。まず、「老化は脚からはじまる」として五十歳から筋肉・骨の加齢現象が起こり、転倒場所は、室内が六十六％、屋外三十四％となっています。原因は内因性として「姿勢が崩れる」が八十五％、また外因性は「段差・傷害物」が四十八％となっています。

「転倒予防のための運動・歩行」としては、スクワット運動や片足立ち、階段の昇降が有効としています。参加した河野理事からの助言は、「加齢とともに筋力の減少低下はしかたのないこと。しかし、無意識・惰性の生活スタイルを少しでも意識した行動で過ごせたら転倒は防げる。」とのことでした。



河野理事

登下校の見守りを始めました

九月から、新規に学童の登下校の見守りの仕事を受託しました。蔵前小の改築に伴い、旧柳北小に通うことになった子どもたちの登下校の安全確保が仕事です。通学路の要所に、現在の十人の会員が交代で立ち、子どもたちに声掛けしながら見守りをしています。



自転車安全教室に

三十五人が参加！

八月九日、自転車安全教室を開催しました。

当日は、蔵前署交通課の草野係長から安全運転について講習を受けた後、会場に設置した自転車シミュレーター（写真右下）に全員が乗車して個別に教えていただきました。参加者から、「自転車の交通ルールで知らないものがあつた」、「わかっていない動作でも反応が遅れることがあつた」などの感想が寄せられました。仕事への行き帰りなどで自転車を利用される会員は、学んだことが活かされると良いですね。



自転車シミュレーターを体験中！



とても有益なお話でした！

契約金の「目安となる価格」を改定しました

十月一日から、最低賃金の改定を参考に、シルバー人材センターの契約金の「目安となる価格」を改定しました。

新規に受託する契約から適用になります。

これに伴い、会員の配分金単価も変更します。詳しい内容は、ホームページをご覧ください。事務局にお問い合わせ下さい。

会員わひろば

毛筆筆耕講習会が開かれました

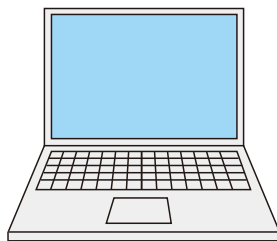
毎月第三火曜日に午前十時より小島社会教育館ホールにて毛筆筆耕講習会が開かれます。

十月のテーマは午前・午後とも「掲示物を書く」です。十一月は「長封筒に宛名書き」で、午後は「年賀状を書く」です。十二月は、午前・午後とも「卒業証書に氏名を書く」です。会員を対象とした毛筆筆耕講習会に是非ご参加ください。



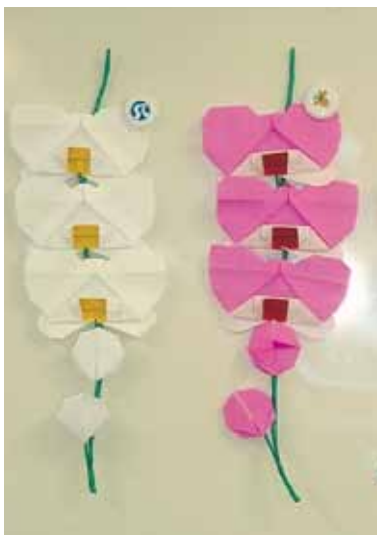
パソコン講座を開催しました

毎月六十歳以上の区民の方を対象にパソコン講座を開催しています。十月のテーマは「デジカメ講座」、「インターネットで賢い検索」。十一月は、「ワードで年賀状作成」、「筆ぐるめで年賀状作成」です。興味のある方はご参加ください。詳しくは、区の「広報たいとう」をご覧ください。



折り紙塾が開かれました

九月二十七日（火）午前十時からシルバール材センター会議室において会員を対象とした折り紙の講習会が開かれました。今回のテーマは「胡蝶蘭」でした。月一回のペースで楽しく折り紙の技術を勉強していきますので是非ご参加ください。参加希望の方は事務局までお問い合わせください。



ボランティアに参加しています

区内の特別養護老人ホームや児童館などで会員グループによる「折り紙講習会」を行っています。宮澤リーダーをはじめ七名のシルバール材センター会員の方々がボランティアで参加し、サービスを受ける皆さんと一緒に優しく触れ合いながら折り紙をおりました。



会員さんが台東区美術展に出展

区長賞を受賞

第三十九回台東区美術展（主催台東区教育委員会・台東区美術会）が九月九日から十四日まで、隅田公園リバーサイドギャラリーで開催され、洋画八十九点、水墨画三十点、日本画九点、彫刻二点が出展・展示されました。当センター会員の牧野民子さんが「揺映」と題して出展された水墨画が見事、台東区長賞を受賞されました。

同じく会員で、台東区美術会委員の小松原文代さん、石井多嘉子さんが洋画部門に出展されました。



牧野民子さんの作品 区長賞「揺映」

牧野さんの画材「揺映」は百合の花弁が揺れる様子から命名したとのことでした。



小松原文代さんの作品「生きる」

小松原文代さんは、「生きる」と題して洋画部門に出展。「生きることへの感謝の気持ちで描きました」とのお話でした。



石井多嘉子さんの作品「極楽鳥花エジプトで」

石井多嘉子さんは、「極楽鳥花エジプトで」と題して洋画部門に出展。「心と心がつながり、毎日有難うという感謝の気持ちで描きました」とのお話でした。



川柳発祥の日を祝う会

八月二十五日は、川柳発祥の記念日です。

「川柳二五〇年」行事の行われた二〇〇七年以来これを祝して川柳を考える一日として、定着してきました。台東区は川柳発祥の地として、蔵前四丁目の天台宗龍宝寺をはじめ区内には、川柳の重要な史跡が点在しています。今年も、川柳家村田周魚翁の五十忌にあたり隅田公園リバーサイドギャラリーにおいて周魚翁関係史料を紹介する川柳展が開催されました。台東川柳人連盟の内田博柳さんは当センターの会員で会場設営や展示品説明に携われ、川柳という伝統文芸の長い道のりに思いをはせていました。



内田さん



投稿コーナー

私のフォトグラフ

投稿写真



不忍池



不忍池のつつじ



不忍池の蓮の花



不忍池の辺り紫陽花

「石森弘さん撮影」

投稿をお待ちしています

会員の広場は会員皆様のコーナーです。趣味やボランティアを始め、俳句、川柳、写真、絵画の紹介など、また、日常の出来事で感銘を受けたことでも結構です。奮ってご応募ください。

応募方法

俳句や写真、絵画などの作品掲載は、作者名とともに題名・作品名をお知らせください。活動内容の説明や出来事などの紹介は、四百字以内でお願いします。なお、ご応募いただいたものは返却できませんので、ご承知のうえお送りください。

応募先

台東区小島1-5-5 台東区シルバー人材センター 総務・広報委員会

シルバー人材センターへの要望・提案をお聞かせください。